MITSUBISHI

0801873HD0804

壁排気エアフロー環気システム

形 名

V-08PND（センサー付パイプ用ファン）〈トイレ壁取付専用〉
P-01CND3（コントローラユニット）〈天井取付専用〉

取扱説明書

お客さま用

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

●添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

もくじ

安全のために必ず守ること……1
1. エアフロー環気システムとは……2
2. 各部のなまえ……2
3. 壁排気エアフロー環気システム例……3
4. 使用方法……4～5
5. お手入れのしかた……6
6. 修理を依頼される前に……7
7. アフターサービス……8
8. 仕様……8

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない** 爆発や引火の原因。
分解禁止	**改造や分解はしない** 火災・感電の原因。
水ぬれ禁止	**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因。
指示に従う	**交流 100V を使用する** 直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因。 **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** 感電やけがの原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によるけがの原因。
接触禁止	**運転中は羽根の中に指や物を入れない** けがの原因。
指示に従う	**お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。 **部品の取付は確実に行う** 落下によりけがの原因。 **長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーまたは引きひもスイッチを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

お 願 い

●スプレーをかけないでください。グリル破損の原因。
●送信機を落としたり、強い衝撃で送信部を傷つけないでください。故障の原因。
●送信機とコントローラ本体の間に障害物を置かないでください。運転操作ができません。

1. エアフロー環気システムとは

コントローラユニットの制御機構により必要な換気風量を一定に保つ機能を備えており、各製品の組合わせにより、住宅の 24 時間換気を行うシステムです。

〈住宅の 24 時間小風量換気とは〉

建材や家具から発生するホルムアルデヒド等の化学物質、居室の中に発生する汚染物質や臭気の濃度を低減するため必要換気風量で 24 時間換気を行います。ただし、24 時間換気を効果的に行うには居室に専用給気ユニットの設置による空気の流通経路の確保が必要です。

〈システムの特長〉

①定風量機能で過不足のない換気（排気）が実現できます。
②小風量換気で省エネ・低騒音運転ができます。
③ 24 時間小風量換気システムは標準的な設置では約 23W（4LDK で風量設定 35m^3/h の場合）の消費電力で居室・浴室・トイレ・洗面所の換気ができます。
④浴室・洗面所はそれぞれ風量切換（強・弱）が可能です。

〈システムの効果〉

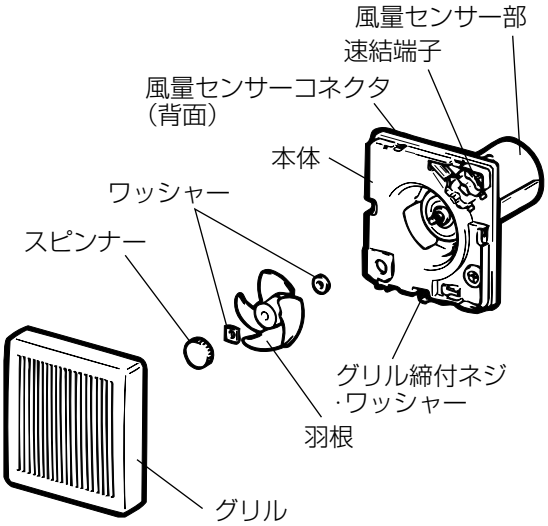
①住宅内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。
②建材や家具から発生されシックハウス症候群で問題となっているホルムアルデヒド等の化学物質の濃度を低減し、給気ユニットから新鮮な空気を取入れます。
③居室の中に発生する炭酸ガスなどの汚染物質や臭気を排出し、新鮮な空気を取入れ空気のよどみを解消します。

〈定風量機能とは〉

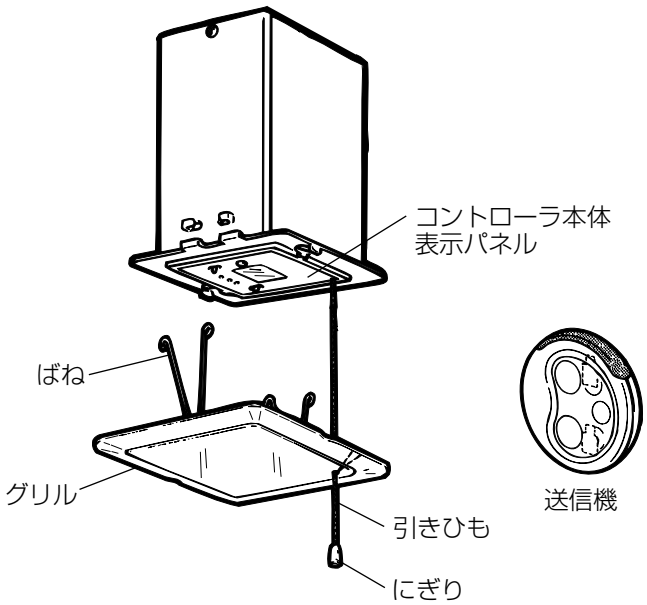
換気する風量を一定に保ちます。外風等の影響により風量が変化した時、風量を一定にするためにモーターパワーが変動します。モーターパワーの変動による騒音が気になる場合は定風量運転を解除してモーターパワーを変えないで運転することができます。

2. 各部のなまえ

〈V-08PND〉



〈P-01CND3〉



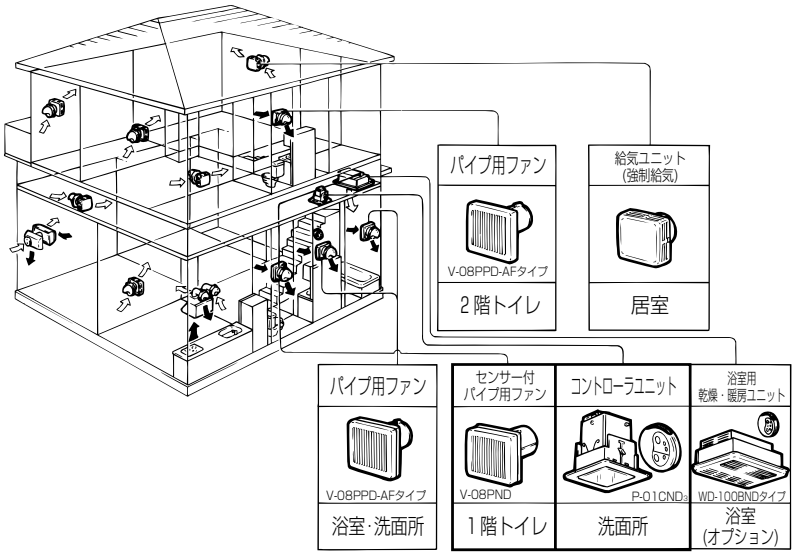
3. 壁排気エアフロー環気システム例

■システム構成

住宅の各部屋に換気扇（給気ユニットと排気用のパイプ用ファン）を設置して空気の入口と出口を明確にし、24 時間連続「弱」運転することにより住宅内で発生する汚染物質の濃度を低減します。浴室、洗面所などの使用時には排気用のパイプ用ファンを「強」運転して発生する湿気や臭気を速やかに排出します。

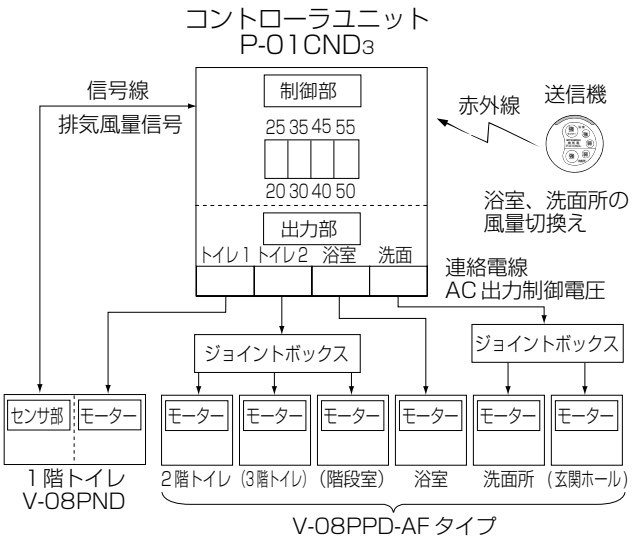
■住宅内の風の流れ

居室に設置された給気ユニットから外気を取り入れ、廊下を経由して浴室、洗面所、トイレなどから排気します。住宅全体に風を流すため各部屋には通気用のドアの下部のすきまなどが必要となります。

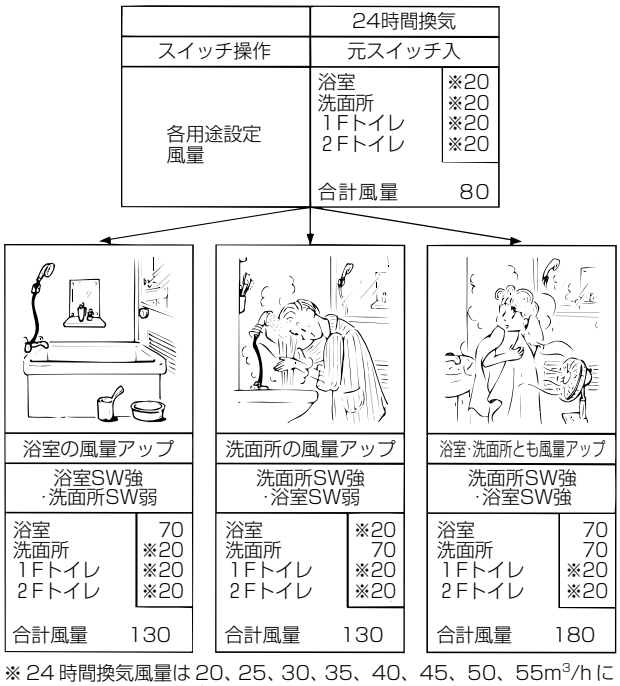


■コントローラユニットとセンサー付パイプ用ファンの働き

24 時間連続「弱」運転時、コントローラユニット（P-01CND3）は、センサー付パイプ用ファン（V-08PND）との組合せにより常に設定された風量で換気運転するよう制御します。その他の排気用のパイプ用ファンもセンサー付パイプ用ファンと連動して、ほぼ同等の風量で運転します。
浴室、洗面所使用時には送信機の操作により排気用のパイプ用ファンを「強」運転します。
コントローラユニットは、排気用のパイプ用ファンだけを制御し、給気ユニットは個々に 24 時間連続運転します。



※ジョイントボックスでコントローラユニットの同じ端子につながっている換気扇は同じ運転をします。



※ 24 時間換気風量は 20、25、30、35、40、45、50、55m³/h に設定変更できます。（部屋ごとの変更はできません）

※ V-08PPD-AF タイプには風量センサーを備えていませんので、P-01CND3 の風量設定の値は目安としてください。

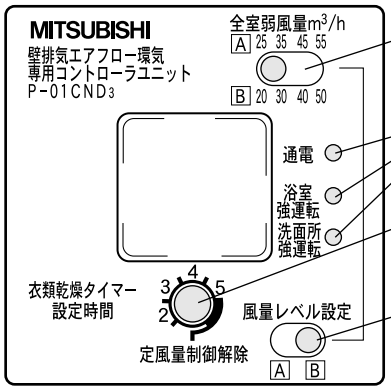
※ V-08PPD-AF タイプ以外は、コントローラユニットにご使用できません。
（異常音発生の原因になります）

4. 使用方法

- この製品は 24 時間換気専用です。点検・修理・お手入れ時などを除き、常時運転してください。
- 各パイプ用ファン（排気）は定風量（弱運転時）機能により常に設定された風量を換気するように運転します。

1. 通電状態を確認する。

コントローラ本体 表示パネル



- 24時間換気（弱運転）時の風量を設定します。

確認ランプ
- 運転状態を表示します。

設定つまみ
- 衣類乾燥タイマーの設定と定風量制御解除を切換えます。
- 定風量制御解除につまみを合わせると設定時間は3時間になります。

- 全室弱風量設定範囲を切換えます。

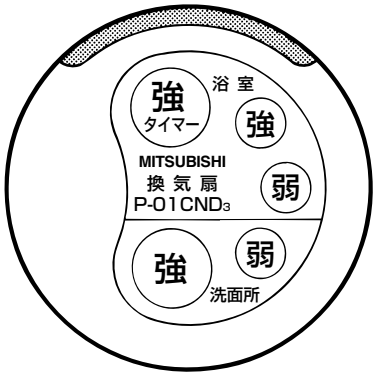
○ 点灯、-☼- 点滅、● 消灯

表示部（確認ランプ）			換気扇の運転状態	対　応
通　電	浴室強運転	洗面所強運転		
○（緑）	●	●	24 時間換気（弱運転）	そのまま使用できます。
●	●	●	停止	引きひもスイッチを引き電源を入れてください。※
-☼-（赤）	-☼-	-☼-	エラー	お買上げの販売店に点検をご依頼ください。

※電源を「切」→「入」または停電復帰すると洗面所は弱、浴室は強タイマー運転を開始します。

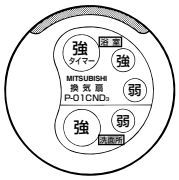
2. 風量切換えをする。

コントローラユニット送信機



浴室操作ボタン

洗面所操作ボタン



リモコンシール

廊　下
納　戸
押入れ
洗濯室
ホール
小屋裏
ロフト
ｸﾛｰｾﾞｯﾄ
トイレ

- 浴室または洗面所用のパイプ用ファンが他の部屋に取付けられている場合、左記リモコンシールが貼付けられています。部屋の表示は変わりますが機能は変わりません。

■送信機の操作ボタンと使いかた

○ 点灯、-☼- 点滅、● 消灯

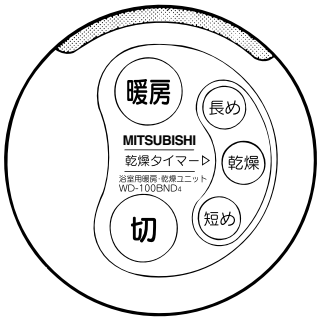
操作ボタン		使いかた	表示部（確認ランプ）			換気扇の運転状態		
			通電	浴室	洗面所	トイレ	浴室	洗面所
浴室	強 タイマー	入浴後に浴室を換気する。3 時間強運転後 24 時間換気（弱運転）になります。	○（緑）	-☼-	○または●	弱	強	強または弱
	強	浴室の湿気・ニオイを急速に換気する。	○（緑）	○	○または●	弱	強	強または弱
	弱	24 時間換気（弱運転）します。	○（緑）	●	○または●	弱	弱	強または弱
洗面所	強	洗面所の湿気・ニオイを急速に換気する。	○（緑）	○または●	○	弱	強または弱	強
	弱	24 時間換気（弱運転）します。	○（緑）	○または●	●	弱	強または弱	弱

メモ

- **弱運転において“コントローラユニットの全室弱風量設定値を大きくする”、または“外風が強い”などの条件により強運転との風量差が小さくなって騒音が高くなることがあります。**
- **換気扇の騒音が気になる場合は設定つまみの「定風量制御解除」に設定する（右に「ピッ」と鳴るまで回す）ことで、騒音を低減することができます。**
- **送信機は、後押しが優先となります。運転状態を変更したいときに、希望する運転モードの操作ボタンを押してください。**

3. 浴室乾燥・暖房ユニット（WD-100BND タイプ）を設置している場合の運転

浴室用乾燥・暖房ユニット送信機



※この送信機は浴室用乾燥・暖房ユニット（WD-100BND タイプ）に同梱されているものです。

■浴室用乾燥・暖房ユニット送信機の操作ボタンと使いかた

○ 点灯、☼ 点滅、● 消灯

操作ボタン	使いかた	表示部（確認ランプ）			換気扇の運転状態			浴室用乾燥・暖房ユニット
		通電	浴室	洗面所	トイレ	浴室	洗面所	
乾燥	浴室を乾燥する。 ※1 設定された時間運転後停止します。	○（赤）	☼	○ または ●	弱	強	強 または 弱	運転
暖房	浴室の予備暖房をする。 3時間運転後停止します。 ※2	○（赤）	●	○	弱	停止	※3 強	運転
切	乾燥を停止する。※4	○（緑）	○ または ●	○ または ●	弱	強 または 弱	強 または 弱	停止
	暖房を停止する。※4	○（緑）	●	●	弱	※2 停止	※2 弱	停止

- 浴室用乾燥・暖房ユニット（WD-100BND タイプ）をご使用の場合は、WD-100BND タイプの「取扱説明書」をご参照してください。

※1 設定つまみにより乾燥運転が停止する時間を2・3・4・5時間に設定します。
浴室用乾燥・暖房ユニット送信機の“長め”“乾燥”“短め”ボタンを押すと下記の時間乾燥運転して停止します。
“長め”：設定した時間より1時間長く運転します。
“乾燥”：設定した時間で運転します。
“短め”：設定した時間より1時間短く運転します。
※2 浴室用乾燥・暖房ユニットの予備暖房運転は切タイマー終了もしくは“切”ボタン操作により、停止しますが浴室保温のため、約1時間浴室の換気扇を停止し、洗面所の換気扇を弱運転します。
※3 予備暖房運転時停止する浴室換気扇の風量を、洗面所の換気扇が強運転することで補なっています。
※4 運転停止後、ヒーター冷却のため循環ファンが継続して運転します。

メモ

- **送信機は、後押しが優先となります。運転状態を変更したいときに、希望する運転モードの操作ボタンを押してください。**

5. お手入れのしかた

⚠警告

●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電やけがの原因。

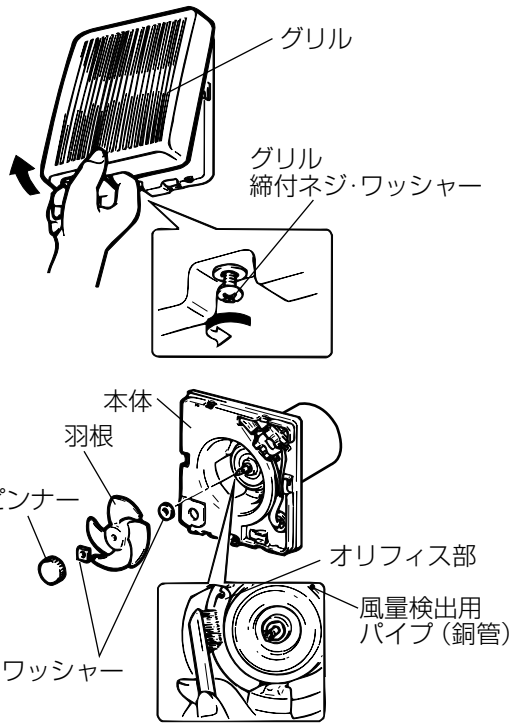
⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する
けがの原因。

お願い ●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

V-08PNDの清掃

グリルの吸込口やオリフィス部にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音の発生の原因になります。約３か月に１度を目安としてグリルと羽根・オリフィス部を清掃してください。



1.グリル締付ネジをゆるめて、グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

2.羽根中央のスピンナーを右に回してはずし、羽根を手前に引き出す。

お願い **●羽根を取りはずすとき羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないようにご注意ください。**

3. グリル・羽根は中性洗剤を溶したぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。

お願い **●オリフィス部や風量検出用パイプ（銅管）にほこりが付着していましたら、細いハケのようなもので取り除いてください。**
●お手入れの際に風量検出用パイプ（銅管）を変形させたり、先端にごみをつまらせたりしないでください。（風量検知ができなくなります）

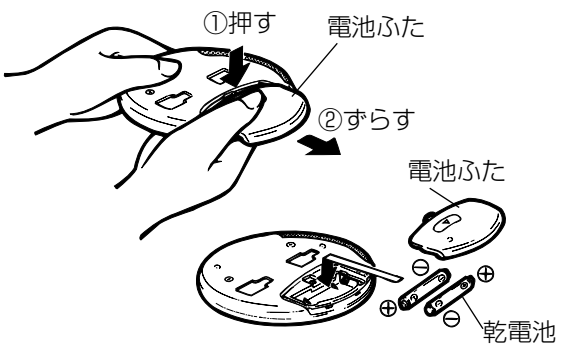
4. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。

P-01CND3の清掃

コントローラ本体の表示パネルや送信機の汚れが目立つようになったらぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようふき取ってください。

お願い **●送信機は絶対に水につけないでください。**

送信機の乾電池交換のしかた



電池ふたをはずし、乾電池（単四形乾電池 1.5V ２本）を入れ替える。

●裏側の電池ふたを表示に従って押して開けます。
●乾電池の極性（＋・－）を表示に合わせて入れ、元通り電池ふたを閉めます。

お願い **●電池ふたの取扱いはていねいに行ってください。**
●交換する乾電池は必ず２本とも新しい、同じ種類のものをお使いください。
●充電式乾電池は使用しないでください。
●送信機は絶対に水につけないでください。

6. 修理を依頼される前に

下記のような症状があれば点検してください。
点検・処置をしても直らない場合は、電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。費用については販売店とご相談ください。

症　　状	原　　因	処　　置
送信機のボタンを押しても運転しない。	●コントローラユニット（P-01CND3）の引きひもスイッチが OFF になっている。	引きひもスイッチを入れる。
	●送信機の電池が消耗している。または、電池の極性が逆である。	電池を交換または入れ換える。
	●ヒューズ・ブレーカーが切れている。または停電である。	点検・処置をする。
	●送信機の位置・向きが適切でない。	送信機の位置・向きを変える。
運転中に異常音や振動がある。	●グリルが本体に確実に固定されていない。 ●本体の取付ネジがゆるくなっている。	●固定する。 ●ネジを締める。
グリルがはずれかけている。（傾いている）	●グリルのバネに不具合がある。（P-01CND3） ●グリル締付ネジがゆるくなっている。（V-08PND）	●バネを確実に本体の引掛部に差し込む。 ●グリル締付ネジを締める。
浴室乾燥・暖房ユニットを運転にしていたら、解除した。	●浴室暖房運転は、消し忘れ防止のため 3 時間たつと自動的に解除されます。 ●浴室換気扇の操作を行うと、浴室用乾燥・暖房ユニットは停止します。	そのままお使いください。
換気扇弱運転時に強運転のように運転している。（弱運転にならない）	●外風が強い。定風量制御機構により羽根の回転数が上昇します。	そのままお使いください。気になる場合は、定風量制御解除してください。
	● 24 時間風量設定が高い場合（例 55m^3/h）強運転との風量差が少なくなります。	住宅全体の必要換気量を確認のうえ 24 時間風量設定を低くしてください。 ●全室弱風量設定つまみの設定を低くする。 ●定風量制御解除してください。
	●フードにホコリが付着し目詰りしている。	お買い上げの販売店に点検・清掃をご依頼ください。
モーターの回転が安定していない	●モーターの回転をコントロールしているためです。	異常ではありません。そのままお使いください。
運転中に停止する。	●コントローラに指定以外の換気扇が取付けてある。または、指定台数以上の換気扇が取付けてある。	お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。
表示パネルの 3 つのランプが全て点滅している。	信号線が V-08PND または P-01CND3 からはずれている。	お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

7. アフターサービス

三菱壁排気エアフロー環気システムのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの換気扇の補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8. 仕様

電源電圧 AC100V 50/60Hz

形　　名	設定風量 (m^3/h)	消費電力 (W)		騒　音（dB）	質　　量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz・60Hz	
V-08PND	20	3.0	3.0	22.0	0.85
	25	3.5	3.3	26.0	
	30	3.9	3.7	29.0	
	35	4.3	4.0	32.0	
	40	4.5	4.1	34.0	
	45	4.9	4.6	36.0	
	50	5.7	4.8	38.0	
	55	5.7	5.1	39.0	

※特製は JIS C9603 に基づく。
※ V-08PND の消費電力は専用コントローラユニット（P-01CND3）の消費電力を含みます。

形　　名	電　　源	制御容量	消費電力 (W)	質　　量 (kg)
P-01CND3	AC100V 50/60Hz	結線図中の指定換気扇以下	2.3/2.2	0.8

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損等がある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名 （住　　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号　電話 0573−66−2111

この説明書は、再生紙を使用しています。